

～ ピッカリ ピッカリ！！ ～

学校だよりNo.8でも紹介しましたが、4月13日（月）に今年度1回目の委員会活動がありました。そこでは、西神吉っ子みんなが安全に楽しく過ごせるようにと、6年生と5年生の高学年のみなさんが、それぞれの委員会で、張り切って活動していました。

さて、計画委員会では、令和8年度の児童会テーマを話し合っていました。そこで決まったテーマは…

令和8年度 児童会テーマ

『みんなであいさつ ^{あか} ^{にしかんき} ピッカリ明るい西神吉』

です。

ちょうど、4月の朝会で「校長先生の今年の目標は、みなさんと『日本一、元気なあいさつが響く学校』にすることです。みなさんの明るい「おはよう！」という声が、この学校を、そしてみなさんの未来を、もっともっと明るくしてくれると信じています。」という話をしたところでした。

それでは、なぜ今、「あいさつ」なのでしょう？

最近ではSNSなどで、指先一つで「いいね」を送り合える便利な時代になりました。でも、画面の中のやり取りだけでは伝わらない大切なものが、私たちの日常にはあります。それが、顔を合わせて直接交わす「あいさつ」です。直接交わすあいさつは、声のトーンで相手の様子がわかったり、笑顔は自分と相手の心を明るくしたりします。SNSの文字はいつか消えてしまうかもしれませんが、目を見て交わした「おはよう」の温かさは、ずっと心に残ります。だから、ネットの「いいね」より、心に届く「おはよう」をたくさん交わしてほしいと思います。そして、あいさつは、一番短い「あなたを大切に思っています」というメッセージでもあります。

では、どんなあいさつが人と人をつなぐ「魔法の言葉」になるのでしょうか。

次の3つを心掛けてあいさつしてみましょう。

「さきに」：相手から言われるのを待たず、自分から。

「にっこりと」：笑顔を添えれば、お互いに明るさは倍増。

「つたえる」：相手に伝わるように、相手の目を見て、明るく、聞こえる声で。



「みんなであいさつ ピッカリ明るい西神吉」

この言葉には、自分たちから進んであいさつを交わすことで、西神吉小学校を、そして地域全体を「ピッカリ」と明るく照らしたいという、計画委員の前向きな願いが込められています。西神吉っ子一人ひとりが、この「ピッカリ輝く魔法の言葉」を使いこなせるようになってほしいと願っています。学校の中だけでなく、通学路で見守ってくださる地域の方々、そしてお家の方へも、自分から「ピッカリ」なあいさつを届けていきましょう。

保護者の皆様、地域の皆様。子どもたちの主体的な活動を、ぜひ温かく見守り、励ましていただければ幸いです。大人も子どもも一緒になって、この西神吉の街を明るいあいさつでいっぱいにしていきましょう！

◆お願い◆

アルミ缶回収のご協力をありがとうございます！

アルミ缶回収で得た収益は、児童会で使い道を考え、「1年生を迎える会」や「6年生を送る会」等での備品購入や募金活動に使わせていただいています。今年度も毎週水曜日がアルミ缶回収の日になっていますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。